

# 正しく使おう! インターネット 事例に学ぶ情報モラル

指導の手引き

小学校  
高学年向け  
(4~6年生)



# 本教材をお使いになる先生方へ

現代社会においてインターネットはあらゆる社会活動に不可欠なツールであり、コミュニケーションや表現活動、知識習得の場として幅広い世代に利用されています。スマートフォンからの利用が急増している昨今は、いつでも、どこでも手軽にインターネットに接続できる生活環境にあるといえます。

しかし、その手軽さゆえ、そして情報モラルの未熟さゆえ、不適切な発言や悪ふざけをインターネット上に公開してしまい、トラブルや炎上事件に発展するケースが相次いでいます。

炎上事件はマスメディアが取り上げる騒動に広がることもしばしばで、近年、企業や大学もインターネット上の出来事・動きを注視しています。不適切な発言をした社員や学生・生徒が解雇や停学、入学取り消しなどに処される事例も後を絶ちません。

このような事情を背景に、情報モラルを効果的に学習していただけるようにとの思いから、このたびパワーポイント教材「正しく使おう！ インターネット 事例に学ぶ情報モラル（小学校高学年向け）」を制作しました。本教材は、実際に起こった炎上事件をもとにインターネット上の発言やふるまいについて視覚的に学ぶことができるもので、指導の手引き（本書）、児童用ワークブックがセットになっています。

児童の将来に禍根を残す炎上事件を防ぎ、インターネットを安全に使えるよう、情報モラル学習の一助となれば幸いです。

## Contents

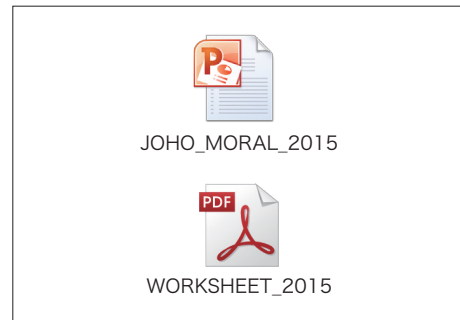
本教材をお使いになる先生方へ .....	2
活用にあたって .....	3
パワーポイントの構成と各スライドの内容 .....	4
「情報モラルチェック」問題と解説 .....	13
児童用ワークシートの問題と解説 .....	14
インターネット用語の解説 .....	15

# 活用にあたって

本教材はパワーポイントファイル、指導の手引き(本書)、  
児童用ワークブック、ワークシートから構成されています。  
カリキュラムや授業の形態に合わせてご活用ください。

## ■パワーポイント・ワークシート

CD-ROMにはパワーポイントファイル(スライド数:全26、本編24)、PDFファイル(ワークシート)の2つが入っています。それぞれコピーしてお使いください。ご使用のPCにパワーポイントがインストールされていない場合は、Microsoftのホームページより「PowerPoint Viewer」をダウンロードの上お使いください。



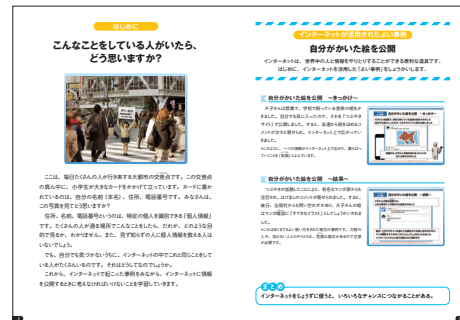
## ■指導の手引き(本書)

本書は、授業展開の手引きとして作成しました。  
授業時の説明を想定し、パワーポイントのスライドごとに説明文を記しています。この説明文は、パワーポイントファイルの「ノート」欄にも入っています。



## ■児童用ワークブック

授業後の復習用教材として作成しました。  
パワーポイント教材の内容をほぼすべておさらいできるため、ワークブックを読むだけでも、教材の内容を一通り学習することができます。



# パワーポイントの構成と各スライドの内容

正しく使おう! インターネット

## 事例に学ぶ 情報モラル

小学校高学年(4~6年生)向け



本教材は、パワーポイント(本編24スライド)より構成され、内容により大きく6つのカテゴリーに分けられます。

実際の授業では、パワーポイントを順に「スライドショー」で再生しながら、各スライドについて解説をしていきます。

ここでは、全体構成と各スライドの内容についてご説明します。

## 導入【問いかけ】(スライド2)

導入として、個人情報を書かれたカードを持った小学生が大都市の交差点に立っているという日常生活ではありえない場面を見せ、児童にどう思うか考えさせます。

この導入は、結末の「インターネットの世界も現実世界と同じである」という部分につながっていきます。

## 2 どう思いますか?

ここは、毎日たくさんの方が行き来する大都市の交差点です。この交差点の真ん中に、小学生が大きなカードを掲げて立っています。カードには、名前(本名)と住所、電話番号が書かれています。みなさんは、この写真を見てどう思いますか? こんなことをしたらどうなるでしょうか?

誰がどのような目的で見ているかわからないのに、見ず知らずの大勢の人たちに個人情報を教える人はいないと思います。

でも、自分でも気づかないうちに、インターネットの中でこれと同じことをしている人がたくさんいます。それはどうしてなのか、一緒に考えていきましょう。

**スライドの動き** クリックするとカードを持った人物が出現し、カードの部分が拡大します。



## ○ 事例紹介 (スライド3～10)

インターネットに情報を公開したことから起こった3つの事例を紹介します。

- インターネットが良い形で活用された例 (スライド3・4)
- 友達とチャットをしていてケンカになってしまった例 (スライド5～7)
- 法律違反の動画を公開したことによる炎上事件の例 (スライド8～10)

軽い気持ちで公開した画像や映像から、人生を変えてしまうほどの炎上事件に発展してしまう事例は、近年数多く起こっています。

### 3 ネットのよい事例 自分がかいた絵を公開 ～きっかけ～

インターネットは、世界中の人と情報をやりとりすることができる便利な道具です。インターネットが良い形で活用された事例を紹介します。

A子さんは授業で、学校で飼っている金魚の絵をかきました。自分でも気に入ったので、それをつぶやきサイトで公開しました。すると、友達からA子さんの絵をほめるコメントが次々と寄せられ、インターネット上で広がっていきました。このように、1つの情報がインターネット上で広がり、散らばっていくことを「拡散」と呼んでいます。

**スライドの動き** クリックすると投稿内容→説明文の順に表示します。



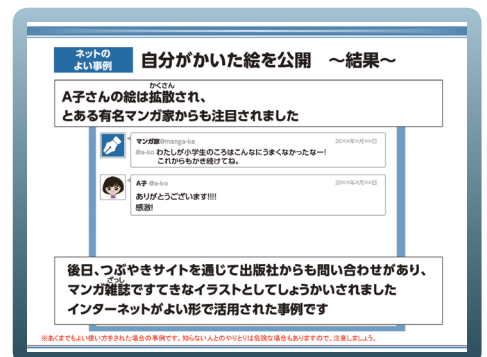
### 4 ネットのよい事例 自分がかいた絵を公開 ～結果～

つぶやきが拡散したことにより、とある有名なマンガ家からも注目され、励ましのコメントが寄せられました。すると、後日、出版社からも問い合わせがあり、A子さんの絵はマンガ雑誌に「すてきなイラスト」として紹介されました。

多くの人と人をつなげて素早く情報を届けられるインターネットは、このような活用をすることができます。

ただし、これはあくまでも良い使い方をされた場合の事例です。大勢の人や知らない人とのやりとりは、危険な場合があるので注意が必要です。

**スライドの動き** クリックすると説明文を表示します。

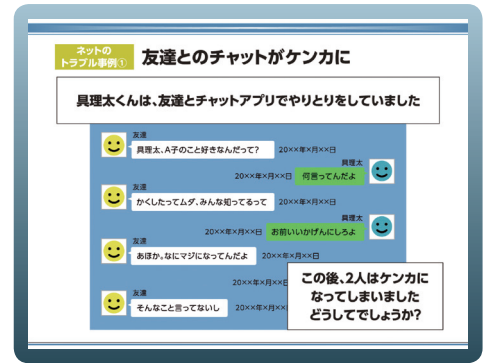


## 5 ネットのトラブル事例① 友達とのチャットがケンカに

「つぶやき」や「チャット」のように、短い文を短時間でやりとりし合うような場合、トラブルになってしまうことが多々あります。

この事例では、友達とのチャットのやりとりから、ケンカになってしまいました。どうしてだと思いますか？

スライドの動き クリックすると問いかけの文を表示します。

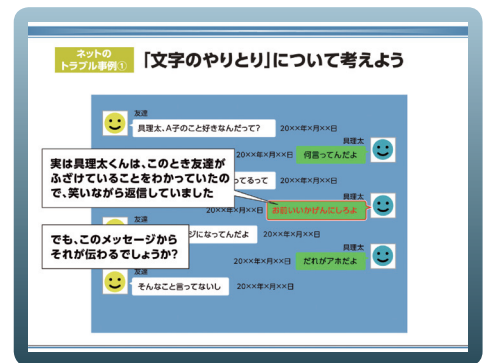


## 6 ネットのトラブル事例① 「文字のやりとり」について考えよう

2人が気まずくなったのは、具理太くんが「お前いいかげんにしろよ」と返した一文からです。具理太くん本人は、友達がふざけているとわかっていたので、笑いながらこの文を送りました。でも、このメッセージからそれが伝わるでしょうか？

「お前いいかげんにしろよ」というメッセージは、文だけを読むと怒っているようにもとれてしまいます。だから、友達は「からかっただけなのに…」と、少しムツとしながら返信しました。その文に、具理太くんはカチンときて……というふうに、だんだんケンカに発展してしまっただけです。

スライドの動き クリックすると発言の1つが強調され、問いかけの文を表示します。



## 7 ネットのトラブル事例① インターネットで文章を書くときは

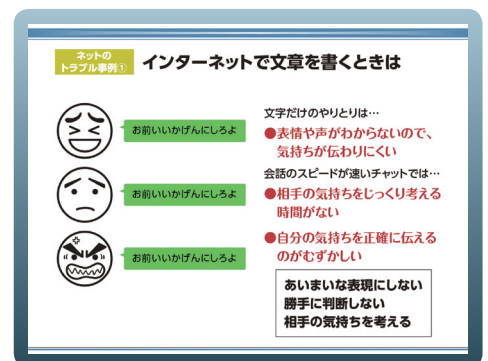
もし、これが会って話していたときの会話だったら、ケンカにはならなかったかもしれません。なぜなら、お互いの表情から、言葉の意味を正しくつかめた可能性があるからです。

同じ言葉でも、それを言うときの表情や声の調子などによって、意味が違って伝わります。しかし、インターネットでは文のやりとりだけなので、微かな意味は伝わりません。特に会話のスピードが速いチャットでは、相手の気持ちをじっくり考える間もなく返信していることが多いのではないのでしょうか。

インターネットでは、あいまいな表現にしないこと、相手の文の意味を勝手に判断しないことが大切です。もしわからなかったら、意図を聞くなど、相手の気持ちを考えて送信するようにしましょう。

※相手の感情がわからなければ直接会って聞くなど、普段から相手に問い返せるような人間関係づくりも大切です。

スライドの動き 内容を順に表示します。



## 8 ネットのトラブル事例② 法律違反の動画を公開 ～きっかけ～

続いて、軽い気持ちで公開した動画によって、法律に反している行為を大勢の人に知らせてしまった例です。

インターネットには違法なソフトなどをダウンロードさせるサイトがあり、違法と気づかずに利用してしまう場合があるので注意しましょう。

スライドの動き 内容を順に表示します。

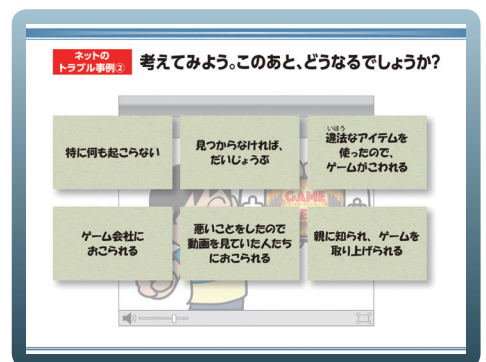


## 9 ネットのトラブル事例② 考えてみよう。このあと、どうなるでしょうか？

動画を公開したあと、どんなことが起こると思いますか？

インターネットには毎日、世界中からものすごい数の動画がアップされています。そんな中で、Aくんの動画を見る人はどれくらいいるのでしょうか。そんなに多くないと思いますか？ また、たとえ動画を見たとしても、それが違法だと気づく人は少ないと思いますか？

スライドの動き クリックすると、意見を1つずつ表示します。



## 10 ネットのトラブル事例② 法律違反の動画を公開 ～結果～

しかし結果は、「炎上事件」に発展してしまいました。

動画を見つけた人が掲示板にそれを公開したことをきっかけに、動画を見たたくさんの人によって拡散され、多くの非難や中傷のコメントが寄せられました。このような状態のことをインターネット上では「炎上」と呼んでいます。

そして、法律違反をしたAくんの身元まで突き止められてしまいました。

学校には問い合わせや抗議の電話がたくさん入り、Aくんの周りから友達が去っていきました。

スライドの動き 内容を順に表示します。



## ○ 炎上事件は「なぜ、どのように」起こるのか(スライド11~16)

最近、スマートフォンなどから手軽に文章や動画を配信できるサービスがありますが、炎上事件の標的を見つけ出す格好の場となっています。ここでは、炎上事件がなぜ起こり、騒動がどのように大きくなっていくのかを見ていきます。そして、個人が特定されていく理由と流れを考えます。

### 11 スマホ、ケータイだけ気をつければいいの？

前述の事例では、軽い気持ちで公開した動画から炎上事件へと発展し、身元が突き止められ、日常生活にも影響する事態となってしまいました。では、なぜこうなってしまったのかを考えていきましょう。

はじめに、みなさんはパソコンやスマホを持っていないから大丈夫だと思いますか？パソコンやスマホを持っていないくても、ゲーム機や音楽プレイヤーを持っている人はたくさんいると思います。ゲーム機や音楽プレイヤーには、インターネットを利用してホームページを見たり、アプリをダウンロードできるものがあります。パソコンやスマートフォンでなくても、インターネットを利用することはできるのです。現代の生活においては、みなさんは何らかの形でインターネットに関わっているといえるのではないのでしょうか。



スライドの動き 内容を順に表示します。

### 12 誰も見ていないから、大丈夫？

問題の動画を公開したAくんも、「自分の動画なんて誰も見ていないから大丈夫」と軽く考えていたのかもしれませんが。

たしかに、個人の書き込み、画像、動画が常に世の中の注目を浴びているわけではありません。大勢の人たちは、1つの書き込みに気づくことなく通り過ぎていきます。しかし、その中でたった1人が気づけば、そこから炎上事件は始まります。

「誰も見ていないだろう」というのは危険な思い込みです。インターネットに情報を発信している誰もが、炎上事件に巻き込まれる可能性があるのです。



スライドの動き クリックにより画面が変化していきます。

### 13 「友達だけに公開」にすればいい？

では、あらかじめ「友達」だけに限定して公開すれば、知らない人に見られることもないので安心できるのでしょうか。

そんなことはありません。書き込みを見た「友達」は、画像を保存して、そのままブログや掲示板サイトなどに公開することが可能です。

「友達」の行動までは誰も制限できません。そして、一度広がり始めると、誰にも止めることはできず、あらゆるサイトにどんどん拡散してしまいます。

たとえば、みなさんが卒業し、中学生になったとき、小学校の卒業アルバムに載っている友達の写真を他の人に送信したとします。自分は1人に送っただけのつもりでも、その人が別の人に送ったり、大勢の人が見える場所に公開してしまったりする可能性があるのです。



スライドの動き 1人の友達に公開され、クリックで一気に拡散します。



## 14 なぜ個人が特定されたのか？

とはいえ、書き込みや画像を見ただけでは、それがどこの誰なのかまではわからないのではないかと。そう思う人も多いはず。

しかし、公開した画像をよく見ると、窓から見える建物や、室内のものなど、個人につながる情報がたくさん写っています。インターネット上では、こんな少しの情報からでも、場所や個人が特定される可能性があります。

また、自分の個人情報を他のサイトに登録していたり、他のサイトに書き込みをしていた場合、大勢の人によって複数の情報がつなげられ、本人にたどりつきます。

**スライドの動き** クリックすると説明文を1つずつ表示します。



## 15 ただ写真をとってのせただけなのに？

何気なく撮った写真を公開しただけで、その人の住所がわかってしまう場合もあります。

携帯電話やスマートフォンには、「GPS」という人工衛星を利用して位置を正確に割り出す機能を持っているものがありますが、そのような機器で撮影をすると、その画像に、撮った場所がわかる「位置情報」が含まれていることがあるからです。

**スライドの動き** 事例を順に表示します。



## 16 「住所まではわからない」と思う？

「位置情報」を持つ画像をインターネットで公開すると、大勢の人にその画像を撮った場所を知らせてしまうことになります。その画像が自分の部屋や、自宅の前、自宅の窓からの風景などであれば、簡単にその人の住所がわかってしまうのです。

**スライドの動き** 内容を順に表示します。



## 炎上事件が人生に与える影響 (スライド17~18)

炎上事件をきっかけに書き込んだ本人の実生活や人生に起こり得ることを見ていきます。

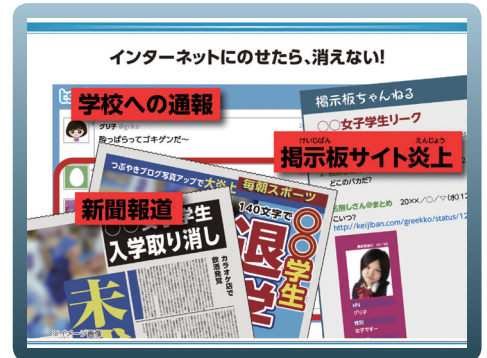
一度起こった炎上事件はインターネット上に半永久に残り続け、後々までの人生に影響を与えるということをしっかり認識させることが重要です。

### 17 インターネットにのせたら、消えない!

問題行動や法律違反を告白している書き込みは、拡散し、本人が特定されることにより、日常生活にも影響が及びます。実際に、学校へ通報されたり、マスコミに報道される例が相次いでいます。

一度インターネットにのせた情報は、絶対に消すことができません。騒ぎになってから書き込みや画像などを削除しても、他の人がすでに保存し、拡散してしまっています。その情報はいつまでもインターネット上に残り続け、何年経っても簡単に探し出すことができます。

スライドの動き 内容を順に表示します。



### 18 過去の書き込みが未来に影響する

インターネットにのせた情報は、現在の生活だけでなく、未来にも大きく影響します。

たとえば保護者が責任をとらなければならなかったり、騒ぎが大きくなって引っ越しせざるを得なくなったり、友達がいなくなったり。進学を希望していた学校から入学を取り消されることもあります。1つの書き込みによって人生が変わってしまうこともあるのです。

スライドの動き 4つの影響例を順に表示します。



## ○ インターネットを正しく安全に使うために (スライド19~22)

実生活とインターネットは同じ世界としてつながっていることをしっかり認識させます。そのうえで、実生活でやってはいけないことはインターネットでも決してやらないという意識づけを行い、インターネットを正しく使うためにはどうすればよいのかを考えさせ、理解させます。

### 19 日常生活とインターネットはつながっている

このように、実際の生活とインターネットは、同じ世界としてつながっています。インターネットは大勢の人が利用する「公共の場」ですから、日常生活と同じように、法律を守らなければ罰せられ、常識やマナー、人に対する思いやりが求められます。このことを忘れてしまい、インターネットでトラブルにあってしまうことが多いのです。

スライドの動き 内容を順に表示します。

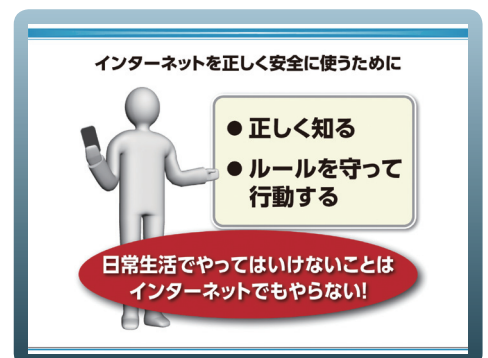


### 20 インターネットを正しく安全に使うために

日常生活とインターネットは、つながっています。だから、日常生活でやってはいけないことは、インターネットでも絶対にやってはいけません。日常生活でやってはいけないことを誤ってインターネットでやってしまわないように、インターネットについて正しく知り、ルールを守って利用しましょう。

インターネットに公開するときは、送信する前に「日常生活でやっていいことかどうか」を考えてみるのが大切です。

スライドの動き 内容を順に表示します。



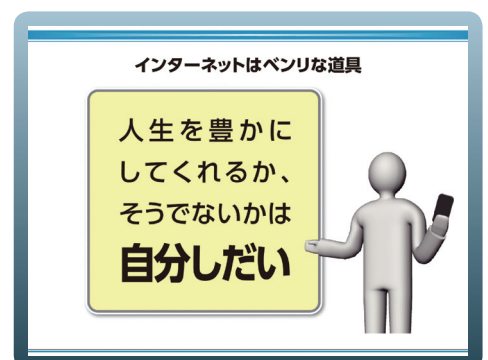
### 21 インターネットはベンリな道具

炎上事件の事例から、インターネットは危ないもの・怖いものと思ってしまった人がいるかもしれません。ですが、最初の絵の事例で紹介したように、インターネットが良い形で活用されることもあります。そして、現代の社会に生きる私たちにとって、インターネットにまったく関わらずに生きることは難しいでしょう。

インターネットは便利な道具です。正しく使えば、人生をより豊かにすることができます。しかし、使い方を誤ると、人生が変わってしまうような事件が起こることもあります。

インターネットが役に立つ道具になるか、人生を壊す凶器となるかは、使い方次第です。「危ないから、怖いから、利用しない」というのは、間違った怖がり方です。学習した内容をしっかり理解し、考えて、誤った使い方をしないように「正しく怖がる」ことが大切です。

スライドの動き クリックにより画面が変化します。



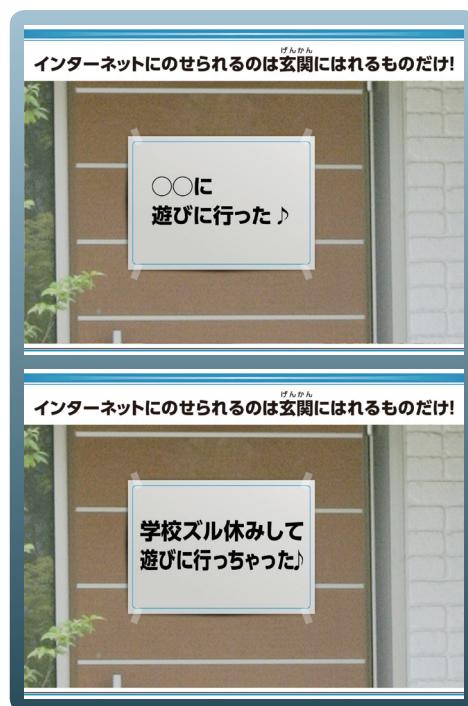
## 22 インターネットにのせられるのは玄関に貼れるものだけ!

「〇〇に遊びに行った」というつぶやきなら、玄関のドアに貼ることもできるでしょう。では、学校をズル休みしたことを告白するつぶやきは? そんな紙は貼り出せませんね。

インターネットに書き込みをすることは、玄関のドアに何かを書いて貼ることと同じで、どこの誰が書いたのかがすぐにわかってしまいます。玄関に貼れないような内容をインターネットに公開してはいけません。

今後、インターネットにのせてよいかどうか迷うことがあったら、この写真を思い出してください。インターネットにのせられるのは、玄関に貼っても大丈夫な情報だけだということを、決して忘れないでください。

**スライドの動き** クリックにより画面が変わります。



# 「情報モラルチェック」問題と解説

児童用ワークブックに掲載されている「情報モラルチェック」の問題・解答と解説です。

「情報モラルチェック」は、児童が授業のおさらいをしながら自らの情報モラルを確認するものです。

問題①～③はパワーポイントのスライド23～25になっており、授業時間中にチェックすることもできます。

※スライドの問題・解答と解説は自由に編集できます。

## ① 仲のよい友達といっしょにとった写真であれば、特に許可をとらなくても、インターネット上に公開してよい

答え：No

いくら仲のよい友達であっても、勝手にインターネットに写真を公開されると、いやがる友達もいます。必ず友達とその保護者の両方に許可をとるようにしましょう。

## ② 自分のインターネットへの書きこみが、社会から注目される可能性は低い

答え：No

個人による書き込みでも、法律違反や迷惑行為、人を傷つける内容であれば、高い確率で社会の注目を集め、炎上事件に発展していきます。

## ③ インターネットで友達など限られた人だけに公開している情報が、知らない人に見られることがある

答え：Yes

友達から友達へと拡散し、知らない人に見られる可能性があります。つぶやきサイトでも、友達だけに公開していた書き込みから炎上事件が起こっています。

## ④ 自分の書きこみや公開した画像を消せば、その内容はインターネット上から消滅する

答え：No

画像のコピーや画面の保存などにより残されている可能性があるため、インターネット上に公開された情報が完全に消滅することはありません。

## ⑤ 多くの人を利用する共用のパソコンから書きこめば、書きこんだ人物までは特定できない

答え：No

情報の発信元や場所にかかわらず、個人を特定することは可能です。

## ⑥ インターネットの世界では、実生活と同じルールやマナーを守る必要がある

答え：Yes

日常生活でやってはいけないことは、インターネット上でも絶対にやってはいけません。

# 児童用ワークシートの問題と解説

## (1) 写真を見て考えましょう。こんなことをしている人がいたら、どう思いますか？

関連スライド：1

個人情報を書いたカードを持った女子児童が大都市の交差点に立っているという写真で、不特定多数の人が行き交う場所で個人情報を知らせているという状況を示しています。個人情報を不用意に公開することはたいへん危険であり、実生活では「ありえない」行為です。しかしインターネット上では、無意識にこれと同じことをしている事例が多々見受けられます。授業の中で、インターネット上で個人情報を公開することは、この写真と同じことをしているのだと意識させることが大切です。



## (2) 文字だけのやりとりをするときは、どんなことに気をつけたいですか？

関連スライド：5～7

つぶやきサイトやチャットアプリは短文のやりとりが簡単にできることから、年齢を問わず多くの人に利用されています。しかし、会って話すのとは違い、短文のやりとりでは感情や微妙なニュアンスが伝わらず、誤解からケンカになるなどのコミュニケーショントラブルも多く発生しています。

チャットなどでは

- ・文字だけのやりとりは相手の顔(感情)が見えにくい
- ・文字だけで感情を正しく伝えるのは難しい ということを理解させよう
- ・あいまいな表現にしない
- ・相手の意図を勝手に判断せず、わからないときは相手に聞く
- ・相手の気持ちを考える などに留意させます。

## (3) 炎上事件の結果、生活や人生にどんなことが起こると思いますか？

関連スライド：14～18

炎上事件では、炎上の原因となった書き込みや画像を公開した本人の身元が高い確率で特定され、本人や家族の写真が公開されたり、自宅や学校への電話攻撃などによって騒ぎが大きくなり、生活や人生に大きな影響を与えます。

実際に、書き込みや投稿画像などの内容によっては保護者が賠償責任を負う、学校で孤立する、引っ越しを余儀なくされる、進学先から入学を取り消される、などの例があります。

## (4) インターネットを正しく安全に使うために、あなたはどんなことに気をつけたいですか？

関連スライド：19～22

日常生活とインターネットはつながっており、ルールやマナーに違いはありません。

また、一度インターネットにのせてしまった情報が消えることはありません。

炎上事件は、このことを理解していなかったり、忘れてしまうことから起こります。

インターネットを正しく安全に使うために、インターネットの特性を知ること、「日常生活でやってはいけないことはインターネットでもやらない」を徹底すること、情報を送信する前に「日常生活で公開できるか」を考えてみるのが大切です。

# インターネット用語の解説

## 違法ダウンロード

販売または有料配信されている音楽、映像、アプリなどを無断で複製し違法に配信しているサイトからダウンロードする行為。それが違法配信されたものであると知りながらダウンロードすると、刑罰の対象になる。

## 炎上

ウェブサイトに批判・非難・誹謗・中傷のコメントなどが殺到する状態。

## 拡散

ある情報がインターネット上で広がり、増えながら散っていくこと。

## GPS (Global Positioning System)

グローバル・ポジショニング・システム：全地球測位システム。人工衛星を利用して地球上の現在位置を測定するシステム。携帯電話、スマートフォンにはGPSが組み込まれたものがあり、位置情報を利用したさまざまなサービスが提供されている。

## 情報モラル

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。

文部科学省では、他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、危険回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することなどを情報モラル教育の内容としている。

## チャット (chat)

インターネットを含むコンピュータネットワークを通じて同時に複数の人とリアルタイムのコミュニケーションを行うシステム。chatは英語で雑談を意味し、ネットワーク上のチャットも気軽に会話を楽しむ手段として普及している。

---

**グリー株式会社**

東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

<http://corp.gree.net/jp/ja/>